

平成 26 年度(後期) 海外渡航旅費助成金成果報告書

金沢大学大学院 自然科学研究科 自然システム学専攻

博士前期課程 2 年 堀野一樹

この度、日本地震学会による海外渡航旅費助成金を受け、2014 年 12 月 17 日から 19 日までの 3 日間に渡り、アメリカ合衆国サンフランシスコの Moscone Center において開催された 2014 AGU Fall Meeting に参加し、ポスター発表を行いましたのでその成果を報告させていただきます。

私は最終日の Recent Advances in Slow Slip and Tremor: Implications for Fault Mechanics and Slip Processes のポスターセッションにおいて発表を行いました。ポスター発表は "Scaled energy of deep low-frequency tremor in southwest Japan" というタイトルで、西南日本における深部低周波微動の scaled energy と振幅・継続時間分布の 2 つのスケール則の空間分布とプレート境界に存在する蛇紋岩の分布から微動の発生過程を探るという内容です。

国際学会での発表は以前にも経験していましたが、会場のスケールの大きさ、参加者の数に圧倒され、ポスターセッションが始まるまでは思い通りに発表できるか不安でした。

今回の発表の目標として、自分の言いたいことを一方的に話してしまうのではなく、互いに対話しながら議論を深めることを掲げていました。しかし、コアタイムの初めは思い通りに話せず、事前に用意した原稿を時折見ながら説明してしまい、対話しつつ発表することができませんでした。それでも、何度か説明を重ねている内に、原稿なしで説明ができるようになり、聴き手の

様子を伺いながら説明を補足すべきところは補足して話せるまでの余裕が出てくるまでになりました。質問に対しても、ジェスチャーを交えながら、次第に簡潔に返答できるようになりました。発表していたのは数時間ですが、その間に英語でのプレゼンテーション能力がとても向上したように感じました。

研究内容については、国内外の研究者の方々から解析結果と蛇紋岩の分布の対応関係がよく見えており、その対応関係を説明するモデルが理にかなっていてわかりやすいとの声を頂いたことに加えて、多くのの方々から興味深い研究とのコメントを頂き、自分の研究内容に自信を持つことができました。このようなことも手伝い、議論することが次第に楽しく感じられ、最終的には 2 時間のコアタイムを越えてセッション終了時間間際まで説明を続けていました。

ポスター発表を通して、今後研究を突き詰めていく中で参考になるコメントを沢山頂くことができたうえに、発表内容を是非論文にしてほしいという声も数回頂いたので、今回の発表で得た経験を糧に論文の執筆に励みたいと考えています。

最後になりましたが、海外渡航旅費助成金により、海外での学会に参加することができ、世界中の研究者の方々とは英語でコミュニケーションをとる大変貴重な機会を得ることができました。このような機会を与えて下さいました日本地震学会及び関係者の皆様に深く御礼申し上げます。